

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第4回 常任理事会

日 時：2014年 4月 10日 (木) 19:00～:21:53

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 村上(敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) : 福田(治)  
( 顧 問 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山  
( 専 務 理 事 ) : 中島(崇)  
( 監 事 ) : 黒川、澤畑、飯野  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 木村(武)(代理)、林  
( 全国大会招致会議議長 ) : 羽石  
( 会員拡大会議議長 ) : 太城  
( 協働連携特別会議議長 ) : 篠崎(達)  
( 法令会計審査会議議長 ) : 廣田  
( 事 務 局 長 ) : 橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)  
2. JCIクリード唱和 <林>  
3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <太城>  
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 <橋本>  
5. 関東地区宣言唱和 <羽石>  
6. 出席者の確認 <橋本>  
出席理事名13/14名  
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>

8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>

9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

10. 理事長挨拶 <村上>

まずは第4回常任理事会に定刻どおりに集まっていた方にたいしましては、厚く御礼を申し上げたいところでございます。非常に気になっておりますのは遅刻、欠席が多いところでございます。公務というところでは致し方ない部分がございますけれども、ここは常任理事会ですから、144名の中核のメンバーでございますので、自覚を持って望んでいただきたいところであります。ここにいる人は自覚を持った人たちですので、是非、仲間意識を持って声をかけたり、色々話をしてほしいと思うわけでありますけれども、副理事長に関しましては私の責任でありますので、私のほうからお話をしたいという風にまず思いました。

それから、4月2日にとちぎテレビに出演をしてみました。設営をして準備をしていただいた専務グループ、豊崎委員長をはじめ委員会のメンバーには本当にお世話になりました。しっかりと放送、私も多少緊張はしましたが会を代表してしっかりと話をしてくることができたと思いますし、これは初心にも書かせていただいておりますブランディングの部分でもありますので、私もこれは継続して行かなければならないと思っておりますので、会を代表してしっかりとこれからも続けて参りたいと思います。

そして4月3日からはハワイの方に行って参りました。本当に木村委員長をはじめ委員会のメンバーにはすごく長い時間、準備をしていただいて本当にご苦勞をかけたわけではありますけれども、本当に実のあるハワイミッションになりました。本当に御礼を心から申し上げたいと思います。そして30名のメンバー、そして家族をあわせると37名で行って来たわけでありまして、97年に姉妹締結をして17年が経つわけでありまして。先輩たちが作ってくれた姉妹JCという本当に貴重な機会で意思表示として友情を育てて来たわけでありまして。この後、来月、再来月になりますでしょうか、報告議案があがってくると思います。未来に向けて、JCでしか教示できない姉妹JCとの交流、これをさらに発展させて行く、そんな報告議案になることを心より期待しているところであります。

今日は一点お話したいことがありまして、実はハワイに行った日の午前中に免許の更新に行ってきたのです。お恥ずかしながら違反車講習だったのですが、2時間講習を受ける中で本を貰うわけでありまして。これを読むとすごく細かいのです。講習を受ける際に考えながら聞いていたのですが、はたしてこれを作る作業はどれくらいの時間がかかったのだろうか、これをゼロから作った人が絶対いるのですよね。これはJCに置き換えると報告議案みたいなもので、ブラッシュアップしていつているのだと思います、毎年、毎年、

何回も何回も、もちろん法律が変わるともちろん差し替えをしないといけないのですが、検証を重ねているわけですね、こういった場所で事故が起きて、その度に法律ももちろん変わるわけでありまして、この講習の本『安全運転を確かな物にするために』これは目的ではありますが、この目的にそった検証を重ねてバージョンアップしてこまごまのすごく細かいけどわかりやすい本に仕上がっているわけでありまして。1日でこういった本はできあがりませんし、何年も積み重ねて行く物で、それでどんどん事故などが減ればもちろんいいわけでありまして。J Cも同じであります。常日頃私は話しますが報告議案は大切ですと、事業計画を作られている方にこの話をいませるのもあれなのですが、毎年、毎年、先を見据えた運動を重ねていくことで広がりを持っていくのがこのJ C運動でありますし、広がりを持たせられなければこれは運動とはいいませんので、日々の積み重ね、細かいことの積み重ね、検証、これをしっかりしていただきたいと感じたわけでありまして。この違反車講習ひとつ、こうゆう本をみるとそんなことに気づかされるわけでありましてけれども、もちろん皆様方の仕事でも、日常にあらゆるヒント、運動のヒントが転がっていると思うのです。是非アンテナを張って何事にも前向きにとらえていただいて、どうすればもっとよくなるのか、もちろんそれは皆様方の仕事もそうですし、J Cに対して、すべてに対して積極的に取り組んでいただきたいという風に思った次第であります。

結びにはなりますけれども実はハワイから帰って来て昨日ですね、京都のほうに行つて参りました。2011年私が日本J Cで議長を務めた時の同窓会が実はあったわけでありまして。2011年の当時の仲間と振り返って話をしていたのですけれども、ちょうど震災があった年で支援活動とともに日本J Cが毎年行っている運動を二足のわらじを履いてどっちも100%の力でやろうじゃないか、そんな固い絆をもって一年間駆け抜けた話をしていたわけでありまして。非常に懐かしかったと共にJ Cのよさを改めて感じるわけでありまして。ともに活動した仲間との友情は一生の宝物でありますし、またこの三年間それぞれの立場、もちろん卒業された方もいらっしゃいますし、卒業した後でも社会にどうゆう風に貢献しているか、現役のメンバーは毎年役職が変わりますので、その三年間どうゆう風な過ごし方をして来たか、そして震災、東北にどう心を寄せて、いまだそれぞれが支援活動をやっぱり行っていたわけでありまして。こういった刺激を私も昨日いただきましたし、是非皆様に置かれましても、もちろんLOMでも一緒なのです。委員会一年間一生懸命やるとそういった絆ももちろん産まれますし、一生の仲間、そして常に刺激し合える仲間を持つことができる。これがJ Cとしての素晴らしさだと再確認したわけでありまして、みなさまも是非、議長、委員長、委員会でメンバーに少しでもそんな気持ちを持ってあげられるような、そんなリーダーであつて欲しいと思います。今日の常任理事会、議案、公益事業等が沢山出て来ているわけでありましてけれども、われわれはすべての市民そしてこの地域のために存在をしている団体であります。本日も真摯に会議に臨んで行きたいと思つています。

今日は地域の学校の桜吹雪が舞う中での入学式、そのまま夜にPTAの理事会がありまして、どうしても外せない立場でございましたのでそちらに行っていたのですけれども、4月の常任理事会でございますが、僕はJCで学んだこと、JCにいた方は色々ところで認められていますので、みなさんも卒業するころになったりすると色々ところでおそらく引っ張りだこになっていくと思います、僕もそんな先輩方と仲がよくていろんなことがあるので地域の小学校のPTAというものにも行かせていただいているのですが、ここで起こっている事とJCの中で起こっていることで非常に似ていることがあったので話したいのですが、PTAは在籍している間しか活動できないのです。たとえば小学校6年生の親御さんは子どもが卒業される時に歓送迎会とかがあると思うのですが、たとえば学年委員さんとか4人ぐらいで歓送迎会に行くと昔は4人いたら4人のうち2人は年末の歓送迎会か最初の歓送迎会のどちらかに2人で絶対必ずでましようという決まりがずっとあって、でもPTAがあれば強制力がまったくなくて任意なのです、ですから出なくていいのだよ、やらなければやらなくていいのだよと、こうなると出ない人がどんどん出て来てしまうのです。本当は4人いるうちの2人が出ないと行けないのが1人、へたすると1人も出ないという学年とかが出てしまう。これって本当に決まりではないのですが習わしとか引き継ぎがされていない、そうするとなにに繋がるかって小学校の繋がる先ってというのがコミュニティーの崩壊だと思うのです、それが僕は色々な人の話をきいて感じたのですけれども、これは非常に危ういことだと思うのです。じゃあどこがJCと被っているのですかというところなのですが、理事会構成メンバー自ら議案を作られておりますが、委員長が議案を作り、それを常任理事がチェックする。そしてその後、副理事長がチェックする。多分それがどうも最近なされていないところが多々あるなど、私のほうで2007年当時に村上副理事長のもと既存の先輩が室長、私が委員長、国際交流でそのころから国際好きだったのです、国際交流委員長が議案を作ります。作って僕は最初にその議案を常任と副理事長に一遍に送っていたのです。そうするとワードで編集しわざわざ赤い字で変策をして、二人して真っ赤にして返して来るのです。二人がチェックしているところが違うので合わせると全部真っ赤になってしまう、これは二人同時に送るのはダメなのです。ということでまず常任理事に送り、何回も何回もやりとりし、その後当時の村上副理事長に送るのです、そうすると一緒に送っていた時には真っ赤でやられるかみたいな返され方をしていたのが、常任は議案を直接変えることとか、直接指摘ごとを主に指摘するわけですね、でそれがクリアになったら常任理事会とか理事会で質問されるであろうことを今度投げかけるのです。そしてそこがクリアになっていけば、今度は副理事長の指摘に関しては議案に直接反映しなくてもその上程者ないし、議案

作成者が自分の中でしっかりと噛み砕いていればいいことだけを返してくれたのです。もちろん最初からできていたわけではないですけども、やっけて行くうちにできた。たまたま当時の副理事長が隣にいますのでこの話をしたいと思ったのですけれども、そういうやりとりをそれぞれの委員会で常任の皆様が委員長とされているのかなと、常任と副理事長がそういう息を合わせた指導ができていますのかなというのが、僕はできていないのではないのかなと、それが続いてくと理事長を務めさせていただいた私にも責任はあると思いますが、そういったことができていないと決まりとかやるべきことがしっかりと引き継がれて行かないのでLOMの力も下がるし、やっけていく事業も素晴らしい物にできなくなる。資金力とか人数だけはどんどん増えていきますけれども、やっぱり今そのところが大切だと思うのです。社会からは本当に卒業間近、卒業していくと皆様は期待をされて色々なところで引っ張りだこになるのです。それはこの在籍している時に一生懸命地域のためにやっているからこそだと思いますし、今しかこのことはできません、もう一度委員長をやりたいと僕が思ってもできない。是非燃え尽きるつもりでそれぞれの一年をやっていただければと思います。協議の途中であまり長くは話したくないので是非ともそのことを皆さん胸に、常任理事会構成メンバーとして是非ともそういったやり方でしっかりと常任理事にくらいついていただければと思います。是非ともそういった関係があるからこそ互いを認められると思いますので、それぞれのラインでいい関係を、これはなあなあではなくしっかりとしたそれぞれの立場と役割を全うするという事です。是非ともそのことをお願いして私のご挨拶とさせていただきます。

## 12. 役員報告

<太城> 4月17日にコンサーレ3階研修室で第3回公開委員会を行います。最近ビジターの数が減ってきておりますので、是非、一人でも多くビジターを連れて来ていただきまして拡大に繋がるようお願いしたいと思います。

<中島(崇)> 今週土曜日、4月12日の夜から地域交流委員会の伊沢君がアウトサイダーの試合に出られます。理事長の方も応援を込めて観覧に行きますので、是非皆様にも応援をしていただきたいという風に思います。それから渉外委員会から連絡がいつているかと思いますが、4月15日火曜日18時からイタヤにて理事会構成メンバーと市長との懇話会がございます。続きまして4月の21日月曜日にブロックの事業になりますがVMVセミナーがコンサーレでございます。VMVですので入会歴の浅い方がメインにはなるとは思います、ぎりぎりまで出席受け付けをしてくれるそうなので、ラインでご興味がある方がいらっしゃいましたら宜しくお願いいたします。

それから関東地区フォーラムが4月の26日土曜日に行われます。こちらは午前10時半頃からスタートして行きますが場所は新橋のヤクルトホームになります。LOMからは一応約50名の登録状況というふうになっておりまして、懇親会もあり当日参加も可能でございますのでよろしく願いいたします。5月の案件は2件です。5月2日金曜日ゴールデンウィーク直前ですが、19時よりタウンミーティングが小山白鷗大学にて行われます。昨年担当されていたブロックの事業ではございますが、こちら5月2日19時からになります。詳細については渉外委員会より再度ご案内させていただきます。最後ですが、5月11日の日曜日に国際アカデミーの体験プログラムが半田の地で行われます。こちらは昨年、小瀧副理事長と私のほうで出席させていただきましたが、国際アカデミーの中でこういったプログラムをやっているのかが体験できる1日かぎりの体験プログラムでございます。3千円で、応募の締め切りが4月の30日までとなっておりますので、参加してみたいという方がいらっしゃいましたらラインの方で一度声がけをしていただきたいと思います。

<小瀧> 4月の12日土曜日ですが、対話集会の練習会に参加して参ります。26日の関東地区フォーラムで八戸の地におきまして対話集会と全体会議がありますので、山田小幹事と私の方で25日から27日まで行って参ります。

### 13. 協議事項

協-01 2月例会 市長を囲む会 開催報告並びに決算（案）について

協議資料に基づき、林常任理事より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> フォーマットのなところから2点、意見と対応の対応の所になりますが、これは引き継ぎ事項のどこの何番に書いてあるかという所まで細かく書いていただきたいと思います。それから参考資料の年間事業フレームは、現状の進んでいる所まで塗りつぶし、進捗状況を確認の上で添付してください。

<羽石> アンケートの回収率が低かったのは議案ではなく、メンバー一人ひとりの意識の問題が大きいと思います。

<橋本> たしか会場の設営をする際に、朝田副理事長、自ら設営をしなくてはなら

なかった状況があったと思いますが、それにたいしての具体的な記載がないと思います。次年度に対しての報告が引き継ぎなので、なるべく事例は具体的に書き、来年この議案をみる方がイメージをしやすいと思いますので、しっかりと記入をお願いいたします。

<中島(崇)> 実際は設営についての引き継ぎで記載がされていますが、より細かくということでもよろしいですか。

<橋本> はい。

<村上> 議案的には纏まってみえますが、橋本事務局長もいっていたように、多分纏まっていてめりはりがない。ぱっと読み流してしまうような綺麗な議案なので、引き継ぎの所はめりはりをつけ、強調したいところは強調するなど工夫をして欲しいです。またアンケートの検証を今回したみたいですが、検証の方法がアンケートでよいかを検証しましたでしょうか、基本アンケートの回収率にもよりますが、回収率がたとえば参加人数の母数を100とした場合のパーセンテージ、回収できなかつたりとか、その他どっちが正解なのかなと迷うところがあると思うので、提案でもよいと思うので、来年のこの後の事業のためにも検証の仕方がアンケートでいいのかどうかを委員会で考えていただいて、それから理事会で報告していただきたいと思います。

## 協-02 PR事業（映像制作）計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<木村(武)> 気になった点が2点あります。振込手数料が524円になっていますが540円に上がっているので変えるところと、紙資料だと伝わらないところがあるので実際に映像ができてから再度確認、手直しはできるのでしょうか、質問です。

<橋本> 振込手数料の件は訂正させていただきます。映像に関しては理事会の審議を基本的に絵コンテでいこうと考えております。もちろんできるところまでは作りたいと思いますが、理事会でおみせする絵コンテはもちろんカラーの物で作りたいと思います。今回はカラーコピーを取る時間がとれずに

紙資料になってしまい大変申しわけございませんでした、次回の理事会にはきちんとイメージができるカラーの資料を用意しますので確認していただければと思います。

<中島(崇)> さきほどの絵コンテの補足をしますと、審議をいただいてから実際に業者にムービーの発注、作成の発注をする段取りになりますので、実際は絵コンテで確認を理事会でいただく流れです。

<林> 絵コンテですが登場人物はモデルさんが入っているが、実際にはどういった方が登場人物として登場するのか決まっているのでしょうか。

<橋本> 絵コンテ上、いわゆるモデルとフレーズ化していますがメインキャストとして2名の女子、仕事の風景をJ Cメンバーの中から2名選出したいと考えております。L O Mメンバーのなかから人選をして決めたいと考えておりますので、メンバー以外の出演は基本的にないと思います。

<中島(崇)> ムービーの流れですが、三段構成の流れを一度ご説明ください。

<橋本> ムービーの流れですが、まずはこちらの絵コンテに描いてありますL O Mメンバーの日常を切り取ったような物を2名、こちらの資料ですと建設業が書いてある人や、保険業が書いてある人がたまたま出ていますけれども、こういった形でどんな人がJ Cメンバーなのかを理解してもらうためにL O Mメンバーにピックアップさせていただきまして、みや祭りやわんぱく相撲、実際の対談、キャスト候補に村上理事長に最後に紙資料にエンディングの部分ですが、職業を掲げたカードをもって笑顔でいろんな業種の方がJ Cの構成メンバーになっているのだとアピールしたいと思っています。また映像の統一間を出すためにスーツでの撮影を考えております。全部で三段構成になっております。

<飯野> このPR事業の予算ですが、公益事業での放映する場所で、公益事業で放映をしますという形だと全額公益にはならないので、その辺りは廣田議長の方で検討されているとは思いますが、予算上問題がないかご検討いただければと思います。

<村上> 今の話を聞いているといい映像になるイメージですが、みる人目線であまり固くなりすぎない映像になるように宜しくお願いします。



協-03 6月例会 第64回ASPAC山形大会における国際事業実施計画並びに予算  
(案) について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 正副でも出たガイドブックの説明をお願いいたします。

<橋本> ガイドブックになりますがこちらの方の写真はイメージで考えていただいて、実際のところはメンバーの写真となります。

<中島(崇)> 通訳の件はどのようにお考えですか。

<橋本> 通訳を入れなくても交流を図れると思っております。

<中島(崇)> ASPAC山形での国際開催ということで、4日から7日での開催で、実際に例会参加に関しましては、宮まつり方式といいますか2日間の内来てくれば出席扱いで基本的には考えておりますが、ご意見いただけたらと思います。

<木村> 通訳の部分なのですが、他のLOMと交流を取るのに私が事業で感じたことなのですが、通訳は僕もいらないと思います。どうゆう風に後押しして会話や交流を取らせる方法を取るかを委員会で揉まないと、自分たちからなかなか行かないで固まってしまうことが今回もありましたので、委員会で揉んだ方がよいと思います。

<太城> 拡大委員会からいうとなんの期待も持てない例会になってしまうのでどうなのかなと、ビジターは100%行かないと思います。仮に入会認証式がある人も行かないと思います。

<橋本> おっしゃるとおりでして、例会の開催が山形で行いますのでビジターさんが来るのには厳しい状況になっているかと思います。反省なのですが、山形のASPACでやるので例会もセレモニーも山形ですべてやらなくてはいけないとゆう固定概念がありました。たとえば今の意見を踏まえてオープニングのセレモニーは宇都宮でやってから移動するなど、委員会でもう

一度揉んでみたいと思います。

<廣田> 質問なのですが、大局観を身につけるために参加すると思うのですが、ASPACのプログラムありきなのでしょうか、それとも委員会でお考えがあるのでしょうか。

<橋本> 当初はASPAC大会ありきで考えていたのですが、よくよく考えるとこちらの目的も書いてあるとおりに大局的に捉えることを身につけることでJC力アップと自己啓発に繋げてゆくため、ASPACはそのツールだと考えております。

<木村(武)> とちまるさんとミヤリーちゃん、こちらは山形JC、日本JCの方には確認は取ってあるのでしょうか、それと缶バッチデザインですが、これがちょっとあまりかっこよくはないのかなど、なんパターンか委員会で揉んで、なんでこれにいたったのかいまいち腑に落ちないと思いました。

<橋本> 最初の質問に関しましては、日本JC、山形JCに確認を早急にとらせていただきたいと思います。缶バッチに関しましてはご指摘のとおり最初のいちデザインで最初からスタートしていましたので、もうちょっとデザインについても揉んでみたいと思います。

<羽石> 先ほどジャアパンナイトの話があったのですが、これこそJCの世界観が学べるところでもあると思うのですが、やるにあたり、登録が絶対的に必要になってくると思うのですが、メンバーが80%の登録の方は50名は必要になってくるのではないかと思いますので、委員会内で検討してください。

<林> 大会ガイドというレポートが添付されているのですが、これの活用方法や回収方法をもっと詳しく教えてください。

<橋本> こちらの回収方法につきましては、参加したメンバーに実際にその場で記入いただくというのを考えてはおります。過去にいろんな事業でアンケートの回収方法は一つのテーマになっているかと思っておりますので、もう少し回収方法につきましては委員会で揉んでみたいと思います。活用方法につきましては報告議案に載せていただきまして、次年度以降も他の事業に生きるような形で報告議案に繋げていきたいと思っております。

<村上> 結局ASPACに行って何をやるかわからない。議案のタイトルもおかしい、ASPACにメンバーが行きたいと思わせる仕掛けを作らないとビジターも行かなければ誰も行きません。例会として考えてください。ゼロベースで考えたほうがよいと思います。

#### 協-04 6月事業 全国大会関連事業 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 参加因数計画が155名となっていて総数はあっているのですが、切り上げをしていないと思いますので、116名になります。それから講演依頼書、協力依頼書の審議対象資料ですが、7番、8番こちら謹啓、謹白になっていますので統一してください。謹啓のあとは行を変える、他の事業系のものをみていただければわかると思いますので、そちらを統一してください。それから参考資料ですが、事業計画、年間事業フレームが添付漏れしていますので付けるようにしてください。最後にポスターですが、他の参考資料等々もそうですが、タイトルのラ・バンバは平仮名なのかカタカナなのか、ラ・バンバこの町になるのか宇都宮なのか、字とタイトルの統一をしてください。6月の事業で初協議ということでございまして、広報系の議案にわけるということで、5月の常任後に臨時理事会で告知議案を先に走らせたいということでございます。ですので一度わたくしのほうからご連絡をさせていただきますが、常任後に臨時の審査と臨時の理事会ということで招集のご連絡をさせていただきたいと思っております。

<廣田> 事業の目的のところを教えていただきたいのですが、対外の部分で市民意識というのは宇都宮の市民であるという意識を醸成するのだと思いますが、その後の未来へ伝えていくところは、なにを未来へ伝えていくイメージを持たれていますか。

<羽石> 未来へ伝えいくというのは、この宇都宮の未来の魅力を含めて宇都宮のまちがここまでなってきたのは、宇都宮を作った人たちがいるのを含め、その辺りを未来へ繋いで行こうという形で考えております。

<廣田> 宇都宮の歴史みたいなイメージでしょうか。

- <羽石> 歴史も含めて未来へ伝えていこうと思います。
- <太城> 未来へ繋いで行く手法というのは事業内容でいうとどの辺でしょうか。
- <羽石> まずはこの事業に来てもらい、この宇都宮の魅力を感じてもらおう。そこからその気持ち、宇都宮って楽しいなというその気持ちをその場で感じてもらい、その後それぞれの家に帰って事業に参加できなかった方にも伝えてもらって繋げていけるのかなと考えております。
- <林> 予算書をみると会場設営費が94万円ということで大部分を占めているような予算（案）になっているのですが、他のよりよい施設などそういった題材案みたいな物は有ったのでしょうか。
- <羽石> 当初レディオベリー前の市民広場を予定していましたが、今回やろうとしていることに対して場所が小さいのかなということがありまして、バンバ市民広場のほうに移った経緯になります。バンバ市民広場で頼んでいる業者さんにすべて設営を含めて依頼した形での見積もりになっておりますので、その中で設置の手間代などそのあたりは今業者さんと交渉中でございますので、今回の常任理事会までには間に合わなかったのですけれども、もっと落とせる形で考えてはおります。
- <太城> 仮にバンバ広場を使うとなった場合、交渉がバンバ広場だけではダメだと思います。参道の脇の色がついている所は二荒山神社の許可を取らないと使えないのですが、その辺はご存知でしょうか。
- <羽石> 確認してあり、二荒山神社とも打ち合わせをさせてもらっております。
- <廣田> 宇都宮市民の意識醸成をするのに各宇都宮の業者さんたち、スポーツチームを呼ぶようなになっているかと思うのですが、こちらの業者を選定する際に、どのような選定基準内容を設けたのか教えてください。
- <羽石> 今回の選定基準として、宇都宮の魅力を発信するということが大前提で選定させていただいております。そういった中でスポーツチームは特に問題はないかと思いますが、飲食ブースにつきましても業者相手という形ではなく、餃子だったりカクテルだったり、そういった所の観点から業者の方

と交渉しております。

<太城> 宇都宮で開催したブロック体会を参考にされたかと思うのですが、確かその時に当時の飯野監事にいわれた記憶からいうと、業者選定にあたり、他の同業者と比べて、どのようにこの業種、業者を選定したのかということを書いています。そういうことはされましたか、または対応を考えていらっしゃいますか。

<羽石> 今回あくまで魅力の発信というところでの業者選定でしたので、一度持ち帰って確認させていただきます。

<太城> 司精工さんてなんですか。

<羽石> 司精工さんなのですが、ブリッツェンさんとかに自転車のパーツを小ロット、数個単位で出している企業でございまして、社長さんも栃木の魅力の発信を行うような団体に入り活動されている方でして、今回この司精工さんとブリッツェンさんで組んでもらいます。司精工さんは元々部品のメーカーだったので、独自の技術を生かし自転車を作ったりスピードメーターなどを造り発信している業種でしたので、今回選ばせていただきました。

<橋本> いろんなブース、スポーツ団体を呼んでやるということはよくわかるのですが、その来てもらう団体に基本おまかせ的なにおいがこの議案だと漂ってきってしまうのですが、そこに対して会議体としての意図とか、そういったものは込められているのでしょうか、質問です。

<羽石> 私のほうで全て打ち合わせ等とらせていただいているのですが、まず一番にお伝えしたいのが、単なる展示ではなく来た方が選手、もしくはチームの方と一緒に参加できるような内容にしてくださいと伝えてあります。ブレックスさんであればフリースローをしてもらい、ブレックスさん自体が社会貢献できるような、そういった考えを強く持っていますので、そういった中でおまかせというかアイデアをもらい組み込ませていただきました。

<村上> 多少近づいて来ているが背景と目的と事業が繋がっていません。背景にJ Cの運動って書いてありますが、背景ではないですね。こっち目線にな

っています。ここの目的は地域の絆と意識なわけで、所信に書いてあることからすると、背景には無関心とか当事者意識の欠如が絶対出てくるはずで、そして手法として所信で表現している所からいうのであれば、市民が誇れるローカル・アイデンティティーを発信するという手法がこの形になっている。琴線に触れることにより市民の地域に対する意識を変えるための事業ということにならないと繋がらないのです。なので事業要綱をよく考えたほうがいいのか、ラ・バンバってどうゆう意味ですか、宇都宮市民とどう関係があるのですか、こういう所の細かい一つひとつなのですか。事業名はすごくキャッチーじゃないといけないし、市民の興味を引き、五感とかそういうレベルで付けているのだと思いますが、ラ・バンバってスペイン語でよろめくって意味らしいです。宇都宮とスペインは関係ありません。後は業者がからむと公益性をそこねる可能性があるのではどうなっていくのか、募集から始めるのか、廣田議長と飯野監事からアドバイスをもらってください。それとなぜユニセフなのでしょう。

<羽石> 今回はブースをだしてもらうにあたり、基本的に出展料は貰わない形になっておりますで、そういった中で企業のブースが売り上げの一つに対して、それを一人というわけではないのですが、企業が利益を出すことは大変難しいところがありましたので、そういったことであれば利益をいったんユニセフに寄付する形で公益性はとれるのかなといったところからユニセフ活動にしました。

<村上> ユニセフ募金だったらNOTHING BUT NETSじゃダメなのかなと思ったりするのです。細かいところが荒いのです。開催趣意書にも全国大会をめざすこととありますが、開催趣意書に宇都宮JCの全国大会をめざすことは書く必要がないと思います。市民の人がこれではのってこれません。そうゆうところで背景が大切だと思います。ただ方向性は間違えていません。やりたいことが近くはなっていると思うので、理由付けをして詰めて行けばなんとかなると思います。みえて来たところで少し安心しました。

協-05 9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、林理事より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 議案上の中に細かくリンクで飛ばしていただいておりますが、議案上に参考資料には載っていないものがけっこうありますので、全て参考資料に記載するようにしてください。細かい所なのでこれは作成者の方でチェックをしていただいて参考資料に漏れがないように付けていただきたいと思います。参加員数計画は115名ではなく、切り上げで116名でお願いします。それから参考資料の事業計画と事業年間予定ですが、チェックがされていないのでチェックをしてください。それから参考資料の18番、参加者募集についてですが、これは中身をみると参加者を増員した理由書なので、参加者増員理由書というふうに変えていただいたほうがわかりやすいと思います。同様の内容で20番の会場についてですが、これも会場を選定した理由書なので会場についてではなく、会場選定理由書と名前を変えてください。それから19番の青少年活動拠点創出事業実施要綱も修正をしておいてください。それから参考資料21番の中央教育審議会の資料が付いていまして、それは背景を説明する資料ということで添付するのなら中身のところが平成5年や6年で、20年以上前の情報なので、背景を根拠とするのには情報が古いのではないかと思います。背景に書いてある現代社会の取り巻く環境ですとか、そういった説明文があったと思うのですが、それを証明するといえますか、根拠となるものをつけてください。説明をしていただきたいと思います意見があり、それに対するところでこれを付けていただいたのだと思うのですが、情報が最近のものではないので指摘をさせていただきました。

<木村(武)> 警備の内容は資料として付けてください。具体的な配置図や警備の意識を高めるためにも必要だと思います。あとアンケートなのですが、アンケートの場所がオリオンスクエアや、また開催してもいいかとかのJ Cよりのアンケートになっています。子どもたちや保護者が一緒に来ると思うので、保護者からの新鮮な意見が聞けるアンケートの方がよいと思います。最後ですが、角が立ったら申しわけないのですが、予算のところ(株)五光さんの高額な予算が出ているのと、ゲストにここまで必要なのかなと、そもそも青少年という面で私が思うに参加してくれた子どもたちがもっと楽しんで次に頑張れるような、そういった面でもう少し削って何か違うものに、たとえば参加賞がジュースとかではなく僕が子どもだったらトロフィーとか、優勝しなくても参加して頑張って小さいメダルでもいいから貰えたら嬉しいし、来年も頑張ろうってなるのかなと、そこを予算と検討していただけるともっとよい事業になるのかなと思いました。

- <林> 持ち帰らせていただいて、もう一度検討させていただこうと思います。
- <小瀧> 参加者募集なのですけれども26チームが去年出場し、確実な例会設営を優先するが故、こちらからお断りしなきゃならない経緯があったとのことですが、本年は30チームに増やしておりますが、昨年は何チーム、何人ぐらい断ったのか引き継いでいますか、それがわからないとまた30チームを超える人数が来ていたとしたら、参加者募集の文言の確実な例会を優先するが故、という部分がおかしくなると思いましたので、意見です。
- <林> 正確な昨年の申し込みチーム数は確認できていませんでしたので、確認の上、もう一度内容の変更をしたいと思います。
- <木村(武)> 初心者部門と選手権部門をわける理由は何ですか、わけるのであれば何を基準にしているのでしょうか。
- <林> 初心者部門に関しましては、ダンスをはじめて一年程度のレベルのダンスチームと、まだダンス大会に出場したことがないチームの方のはじめての機会といたしまして、この宇都宮ストリートダンス選手権に参加していただければなという意図です。選手権部門に関してはダンススクール等々レベルに関しましても色々あると思うのですが、それを含めた上で選手権部門と考えております。
- <木村(武)> わけるにあたり、初心者部門と選手権部門でわけるのであれば、去年とかもみていて思ったのですが、体の発育、能力、体の大きさ成長など、小学生部門、中学生部門とかでわけた方が平等性が審査にもでるのかなと思いました。
- <澤畑> さっきの人数が去年どれくらいだったのかですが、確かに去年は多く応募がありました。去年担当常任だったので父兄の方たちと話したのですが、いつやったらいいのですかと聞いた時に、いつでもよいのだというお話が返ってきてまして、結局どこにしてもダンスの大会は色々あるらしく、関わっているダンスチームによって違ったり、学校行事も様々なので、結局、空いていれば出るけど空いていなければ出ない。結局その日に空いているチームが出るだけだから、必ずしもまたオーバーするかどうかはわからない。だからその辺を、もちろん去年どうだったか調べるのも必要なのです



が、学校行事とかダンス行事とかその辺をしっかりと調べてチーム数は決めた方がいいと思います。去年オーバーしたからまたオーバーするかはわからないので、その辺を去年の委員長や委員会メンバーと話をしていないのがよくわかりました。木村委員長がいていた初心者と選手権の区分に関しても、1年未満といってもたとえば1チーム20人いますよね、その中の19人が1年やってなくて1人は20年もやっている人だったらどうするのでしょうか、またチームとしては1ヶ月だけど個々の個人は5年もやっている、とかはどうするのかと、去年問題になったので知っているはずなのです。それをもっと話し合っって色々と細かい所、3人で出るチーム、2人は初心者、うち一人はやって1週間ぐらいなのにこっちは2年ぐらいやっているだとか、それも初心者なのですかというところなのです。ちゃんとした明確な基準が必要だと思います。過去の全ての意見に対しての対応をわかっていないのがよくわかったので、もう少しそれは詰めたほうがよいなとすごく感じました。打ち合わせをするようにしてください。

<小瀧> 事業実地に至る背景ですが、ストリートダンス選手権に出る子どもたちというのはこの背景には当てはまらない子どもたちです。仲間との体験の共有も減り、団体での行動が苦手になっています。と書いてあり、一般的な子どもたちの状況が書いてあるのですが、実際に集めるのは活発なダンスをやっている子どもたちなので背景がちょっと違うような気がすると思います。

<橋本> 同じ背景に関してですが、背景にかいてあるのはどのように繋がってくるのか、もしくはどうゆう所からこの様な背景になったのかを教えてくださいたいのですが。

<林> 背景がどのように繋がって行くのかということなのですが、大きくは次世代を担う子どもの成長が必要だということがありますので、もう一度検討して参ります。

<福田(治)> 宇都宮ストリートダンス選手権が今後どのようになって行かないといけないのか、ビジョンはお持ちですか。

<林> 今年4年目ということで毎年会場を変えやって来ております。毎年その時の理事長の方針に乗っ取り様々な手法を考えているわけですが、子どもたちの笑顔を沢山生み出せる事業ということでわんぱく相撲と共に宇都宮J

Cとしては大変素晴らしい事業だと考えておりますので、今後におきましてもますますダンス大会として、宇都宮J Cの青少年育成のみならずより大きなダンス大会として認知していただけるように内容や審査内容など細かく検討していく必要があると思うのですが、一方で宇都宮J Cだけの事業に留まっていることが必ずしもよいことではないのかもしれないかもしれません。継続事業として宇都宮J Cが抱えて行くことがよいことではないかもしれないという議論も出ていますので、ゆくゆく宇都宮市がもっとよい物を作る上で、こちらの事業を引き継いでいただけるということを念頭に置きながら事業の方を構築していただけるとよいのではないかなと思います。

<福田(治)> 僕が思うのは去年ぐらいから宇都宮市の方がだいぶ乗っかって来てくれており、市のほうが優先的にしてくれたわけです。ということはずっと我々が抱えるのか抱えないのかというところがもちろんありますけれども、チャンスなのだと思うのです。ダンスの世界というのはスクールさんごとに縦、横の壁が高い、こういった大会を公益でできるのはまさにJ Cだからこそだと思いますので、ダンスという世界の細かいところもしっかり全て詰めてクリアーにしていかなければいけないけれども、今はもっともっと大きくできる機会だと思うので、たとえば選手権をどうこうのするのだったら小学校低学年と高学年、それと中学生、高校生、会場もオリオンスクエア一つにとどめる必要がない、バンバ広場を使ったり、町中を宇都宮J Cが行うストリートダンス選手権でジャックしてしまうくらいの心構えを持ってやってもよいのではないかなと、今まさにそのチャンスが訪れてると僕は思っています。もちろん細かい所は詰めないと行けない、でも委員会としてはそれぐらいの気持ちでできる時だと思うので、是非そういった気持ちで取り組んでいただいて、本当に今がチャンスじゃないかなと、拡大からすると非常にまた委員会がひとつになる機会ですし、オリオンスクエアでこれだけの予算をかけてやっていますけれどもメンバー手があまります。会場を2つに別けても全然問題ないのです。それごと市にもちかけてやればいいのです。是非ともそのための佐藤市長への根回しであればもちろん理事長も喜んで一肌脱いでいただけるとと思いますし、わたくしも手伝いますので是非それぐらいの気持ちで取り組んでいただきたいと思いません。

<村上> いま直前がittaいただいたロードマップを作ってみたらどうだろうという話ですが、ダンス選手権が主本にあり、この事業をとおしてどうやって広がりを持たせるかというのを常に考えないと、運動になっていかないと

思うのですね、直前は優しいので色々な手法を授けて貰いましたがけれども、どうやったら広がれるのか、他の団体に移管するってことがロードマップを作ってくれという話ではない。ロードマップで今年、来年とどういう風に考えて行くか、その中で移管するべきなのかどうか、またさらにイメージをどんどん膨らませていただきたいと思います。

協-06 9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権 告知計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、林理事より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 添付の資料に関しましては、8、9、10のリンクが飛んでいません。それから13番、プレスリリースの理事長名が去年のままなので、これは必ず修正をしてください。続きまして審議対象資料19番の案内文（ビジュアル用）ですが、これは事務局でプリントアウトやコピーをするつもりでいらっしゃいますか。

<林> はい

<中島(崇)> であればカラーはやめたほうがよろしいかと思います。これは修正をしてください。それから対外的なのですが、告知をする目的にはちょっと目的と異なる部分があるのかなという風に思えますので、一度精査してください。また紙資料の方ですが、協賛のお願い、それから協力をお願いに関しましては先程の全国大会議案と同じで行を変えずそのまま綴ってスペースを付けるようにしてください。

<廣田> ポスターの計上予算ですが、審議対象資料にポスターがございません。いつあがってくる予定なのかスケジュールを教えてくださいと思います。質問です。

<林> 5月にまずこちらの対外資料の審議をいただきまして、6月にポスターの審議をいただく予定です。ポスターを添付するのは5月の議案書から上程いたしまして、ポスターの審議をいただくのは6月という形になっております。

<朝田> 広報議案の方で、まず後援等の審議をいただいてから、本体議案の方でポスターの審議をいただく形となります。

<中島(崇)> 5月25日審議でポスターの審議をとるという形で宜しいです。

<廣田> 今現状、告知費用で97,560円計上されていますが、その中にポスターの作成費が入っているようにみられるので、6月で審議をとるのであればその部分は抜いていただければと思います。以上意見です。

<木村(武)> ポスターはこれからということなのですが、自分なりにみてですが参加者募集よりのポスターになっていくのかなと感じるのです。参加者募集も重要だと想うのですけれどもそれをみに来る子どもたち、仮にダンスをやっていない子がオリオンスクエアでやるのでそれをみて、ダンスをやってみようとか、みに行こうと思うようなポスターを是非、作成していただければいい告知になるのかなと思います。

<飯野> ポスターの配布先になりますが、今回特に青少年育成の事業ということで、メインとなる小中高の配布先が宇都宮の全部ではないと思うのですが、公益事業なので平等でなければいけないと思うのですけれども、ある程度選定はしたのだとは思いますが、それが地域なのかどういふ基準で選んだのかを対外的にもしっかりと説明できるような合理的な理由をちゃんと把握してください。あと少し脱線しますが羽石議長の全国大会関連事業の出店の件ですが、実際ホームページで出店募集して候補してから選定しているようです。そういった手順をふんでちゃんとやっているのです、6月にそこまでやってくださいということはないですが、やはり公益事業なので、しっかり根拠を作っていただく必要はあるかと思えます。

<羽石> 今回の協賛する側のメリットというのはどこにあるのでしょうか、もちろんジュースとかいただいてくばるのですけれども、こういった形で協賛していただいた企業に報告しているのですか。

<林> 協賛企業様に明確なメリットというのが提示できていないということは確かにあるかと思えます。一応予定と致しましてモニターで協賛企業様の名前を出すという予定はあります。またポスターのページなどそういった所での名前の宣伝とでしか掲載はしていませんでしたので、そういったメリット等、協賛企業様に対しての広告に関しましても持ち帰り検討いたしま

す。

<村上> ポスターじゃなくて募集計画なのかなと思いました。

協-07 その他

なし

#### 14. 報告事項

報-01 メディア掲載報告について

資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 補足ですがテレビに出演した内容に関しましては、映像の方をY o u T u b eチャンネルやホームページ、そういったところでリンクを貼ってみていただける様な形で計画を進めております。なお栃木テレビの方のページには過去ログという形で掲載されておりますので報告させていただきます。

報-02 対外出向者について

<中島(崇)> ご一読ください。

報-03 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-04 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-05 会費納入状況について

<中島(崇)> まだ会費を入れていただけていない方が黄色の塗りつぶしです。こちらに關しましてはもちろんラインで再度連絡をしていただけて、必ず入金をしていただくようお願いをいたします。実際に事業、例会にしっかりと出席していただけているメンバーでも入金をしていないメンバーがいらっしゃいます。これは本当に声がけ一つだと思いますので必ず伝えるようにしてください。

#### 報-06 特別会員入金状況について

<中島(崇)> ご一読ください。

#### 報-07 次回開催について

<中島(崇)> 5月14日(水) 19:00～ コンセーレ JCルームにて開催。

#### 15. 監事講評

<澤田>

総務委員会の皆様設営ご苦労様です。何を話そうかなと考えていたのですが、黒川監事を見習い何の日かというのを話そうかなと、それか一個ずつ去年の朝田監事のように常任理事会全体の好評をしようかと、考えた結果全部いうことに決めましたので長く話したいと思います。

まず何の日か、今日はヨットの日、そして四万十の日、駅弁の日だそうです。ただどれも引き出しがないのでやめときますが一応この三つです。それと、全体的に常任理事会の感想ですが、やはり毎回いわせていただくと意見が少ないというのが残念です。今日若干一人頑張っているなと思ったら代理で来てくれた木村委員長だったのですね。本当に素晴らしく時差ぼけもなく色々な意見を一生懸命いっていただき本当にすごいなと思いました。ただ本当に常任理事会、常任の皆様意見が出ないのだなとつくづく感じてしまっております。これはなぜかわからないのですけれども、予定者の段階で理事長が常任理事会をしっかりとやろうといていたと思うのですけれども、わたしのその時の感想は、今年常任じゃなくてよかったと思いましたが、常任理事会が一番ぬるいような気がします。理事会

の方がまだましなのかなというぐらい、常任理事会はさっと終わっていく感じがするので、この辺はもう少し理事長がいったようにやって行くのが筋です。長い常任理事会がいいといっているわけではないですが、やはりしっかりここでガチガチにやっておかなければだめだと思うのです。そのへんはもう一度考え直してください。常任理事の皆様、いろいろのかなというのものもあるのでしょうか、やはり今日飯野監事とも話したのですけれども、この内容だと下手したら相当かかるかもという内容なのです。報告議案もいよいよちゃんとしたこと業として上がってきましたし、事業で上がって来た報告議案であったり、PR事業も今までやったことで6月のASPAC、これは本当に大変なことです。もう少しちゃんと考えなければならぬと思います。山形で例会をやるというのは、私は入会者じゃないので、これはもう少ししっかりとどこがよいのか悪いのか話さないダメだと思います。その次の事業からも100万円越えの事業ですし、別に予算が大きいからどうのというわけではないのですけれども、もう少しやっぱり、常任理事会で詰める所があったのではないのかなと思っております。

そして一つひとつ気づいた所をいっていきたいのですけれども、まず市長例会の報告ですが、この引き継ぎ事項をみてもらいたいのですけれども、たとえば2番の例会の進行をスムーズに行うためとか、シュミレーション不足でしたとかこの辺は引き継ぐほどのレベルじゃない。ほとんどそうだと思うのですが、もしシュミレーション不足というのならいきなり突発的にこういうこともあるのでシュミレーションしておいたほうがよいという引き継ぎは必要だと思うのですけれども、全体の例会の設営のシュミレーションをしていなかったというのを引き継ぎに書くことでもないと思います。一応その辺は考え直してみてください。後このPR事業、30代男と書いてありますが、JCって20歳から入れるのですよね、女子もいるのですよね、そのへんももう一回考えた方がいいと思います。30代男の団体としか思われませんので。その辺感じました。あとASPAC、これ大変ですよ、太城議長がいていましたけれども例会と位置付けるのであれば拡大を考えてください。例会を馬鹿にしないでください。一回の例会の出席、欠席というのはたとえば次の年の選挙権とかにも関わってくるのです。そのへんもしっかり考えてまた違った手法を考えていただきたいと思います。たとえば例でいうならば宇都宮で土曜日に事業をやるとか、そしてそっちに来てくても出席になるとか、そのようにしてあげてもいいのではないかなと思います。本当に拡大に関して例会参加というのはすごく大切なので、そのへんもちゃんと考えた上で、ASPACが例会だからとかの前に、例会という位置づけを考えてください。だからこそさっきいった常任理事会で、何であんなに意見がでないのかなと感じました。

それと全国大会関連事業もだんだんまとまってきたのでしようけれど、このイベント的なものをやるやらない、よいか悪いかはわかりませんが、その方向でよいとしてもどんなイベントでもたとえば被災地にむけての支援を俺たちはやるんだとか、たとえば盲導犬の募金とか、こっちの議案の中の目的というのは一般の方にはどうでもいいのですよね、た

だせっかく目的を立てるのだから、詳しいことは一般の人に知られる必要はないけれど、そのイベントに遊びに来たら、こういうことのためにやっているのだなというのがわかるようなイベントにしてください。たとえば金魚すくいや綿飴があってもいいと思うのですよ、ただそこの一割は被災地に送りますと書いて、どのブースでも、ステージでも同じことをやっていれば多分来た人たちも、ああそのためにやっているのだなと伝わるので、共通意識、目的というものを来ていただいた方がなんとなくこんなことのためにこのイベントやっているのだなとわかるようにしていただければと思います。あとはダンスはですね、私もこの事業が本当に好きなのですが、去年は市のほうも教えてもらいにきて、これが本当の理想の形だとなってきました。ただ現状はやはりやることがない。たとえば林常任が福委員長だったころ、多分オリオンスクエアでやって、その他に太城委員長がでかい事業を抱えていて、その少ない人数でもできてしまう事業なのです。それをわかっているのであれば常任がアドバイスをして、それを140人かけてやったらどのくらいの方がやることがない状況になるのか、会場まで決めてもらい、そこまでやったら去年と一緒にではなくて、新たなこと、その辺をアドバイスしてあげるのが常任じゃないのかなと思います。というわけでもう少し常任理事であるという自覚を持って、しっかりとした意見を出し合って一つひとつの事業をもう少し真剣に考えていただきたいなと思います。

## 16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第4回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会